

2023年度CBT×ASD研修会 2022年度研修会録画セット

2023/7/1～12/31@録画配信
一般 4000円 学生 3000円

- ① 認知行動療法入門 — 自閉スペクトラム症者への適用 —
- ② ASDに気づいてケアするCBT実践者向け講習会
- ③ 自閉症者に対するスティグマの理解
- ④ 自閉症者の社会的カモフラージュ行動



申込リンク先

認知行動療法入門

— 自閉スペクトラム症者への適用 —

自閉スペクトラム症（ASD）の人の中には、社会面での障害が目につきにくいために、幼少期・学童期に診断を含む支援の機会を逃した人がいる。一方、幼少期・学童期に診断され周囲からの支援を受けてうまくいっていたものの、成長するにつれ対人関係や自立行動などが増えるという変化にうまく合わせられずに、困り感が増えて、二次障害に発展していく可能性がある。

今回の講演では、自閉スペクトラム症の人を対象とした精神科臨床の現状を踏まえ、認知行動療法の介入の可能性と実際について、国内外の最新の研究とともに紹介する。

発達障害の理解と支援における認知行動療法への期待（仮）

松澤大輔先生（千葉大学・新津田沼メンタルクリニック）

本講演では、精神科臨床におけるASDの診断から治療について概説する。さらに思春期・成人期以降の自閉症の人が抱える二次的障害や併存症による課題と医療的対応、福祉、心理との連携について、事例を交えて紹介する。

うつ・不安・不眠の認知行動療法

清水栄司先生（千葉大学）

成人期のASDは、環境への不適合から強い情動的混乱をきして、精神病症状を合併されやすい。本講演では、不安、うつ、不眠に対するアプローチとして、既にエビデンスのある認知行動療法の実際を紹介する。

自閉スペクトラム症者への認知行動療法の適用

大島郁葉先生（千葉大学）

成人期のASDが抱える不適合の問題を最新の研究を概観し、その不適合を認知行動療法のモデルでどのように理解して、解決することができるかを、さまざまな事例を交えて紹介する。



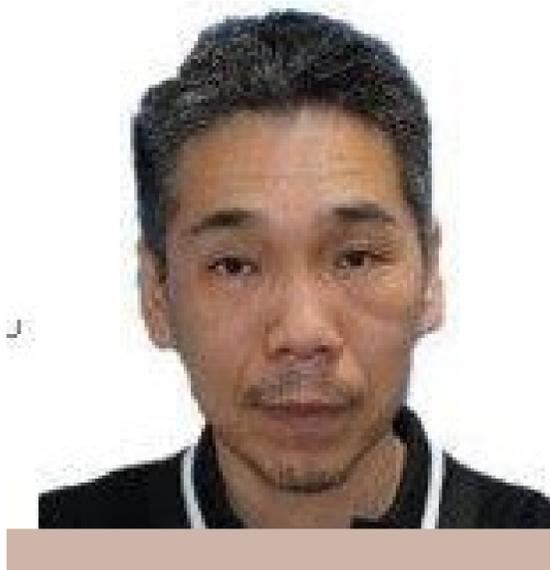
ASDに気づいてケアする CBT実践者向け講習会 (アップデート編)

2022.8.20 & 8.21
10:00-16:00



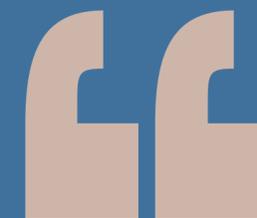
大島郁葉先生 (千葉大学)

- ・ ACATの概要についての講義後に、実践プロセスは動画を交えながら説明を行う
- ・ 少人数のグループ形式で練習し、ACATに必要なスキルの習得を目指す



桑原齊先生 (埼玉医科大学)

- ・ ASDを診断することの有用性について、および診断プロセスについての講義を行う



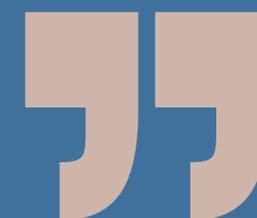
講演概要

ASDは、その特性に気づかない場合、何が原因かは分からないままの「生きづらさ」につながる場合がある。そして、うつや不安、強迫、といった、いわゆる二次障害になってしまう場合もあれば、対人不信感や被害感などの辛い感情を持ち続ける場合も少なくない。

ASDに気づいてケアするプログラム (ACAT) では、ASDであると診断された人達に対し、個別のASDの特性を調べ、理解したうえで、そのような様々なつらい体験のからくりを認知行動療法のモデルを用いて理解し、対処法を考えていくという、新しい形のCBTである。

1日目には大島よりACATの実践についてワークショップ形式で行い、2日目には桑原よりASDの診断プロセスの実際を講義形式で紹介する。

- ・ 診断と支援をつなげることを目的としたCBTです
- ・ 当事者や家族のスティグマにも対応することができます
- ・ こだわりの強いケースに対するCBTの動画を紹介します





Dr. Eilidh Cage

2022.9.16
自閉症者に対する
スティグマの理解
Eilidh Cage
18:00-20:30

Lecturer in Psychology
University of Stirling

研究テーマ

- ・ 自閉症の受容の経験とメンタルヘルス
- ・ 自閉症に対する一般の認識と理解/誤解と受容を改善する方法
- ・ 自閉症の学生にとって大学をよりアクセスしやすい環境調整



Dr. Laura Hull

2023.9.29
自閉症者の
社会的カモフラージュ行動
Laura Hull
18:00-20:30

Clinical Psychology
Postdoctoral researcher
University of Bristol

研究テーマ

- ・ 自閉症の男女差と社会的カモフラージュ行動
- ・ 高機能のASD者の社会的カモフラージュ行動尺度の開発
Camouflaging Autistic Traits Questionnaire
- ・ 自閉症と定型発達者の共感性に関するプロジェクト
- ・ 社会的カモフラージュ行動とは、自閉症者が日常の社会的状況でASDとしての自分らしいふるまいを隠蔽し、定型発達者のようにふるまう行動を指しており、不安やうつに負の影響

講演概要 Dr. Eilidh Cage

Understanding and reducing stigma towards autistic people

In this lecture, Dr Eilidh Cage will discuss research looking at stigma towards autistic people. Often, views of autistic people can be negative and based on myths, stereotypes or misunderstandings.

Because of these negative, stigmatising views, autistic people regularly face discrimination and prejudice in their lives. These experiences are thought to contribute to the maintenance of masking or camouflaging behaviours (whereby autistic people consciously or subconsciously present themselves as though non-autistic) and have a negative impact on wellbeing.

A particular feature of stigma is that it is often dehumanizing seeing the stigmatised group as 'less than human'. This lecture will cover research on dehumanisation, both in the general public and amongst autism researchers themselves.

Finally, Dr Cage will discuss what we can do to reduce stigma, including reflections on a participatory project where we developed and tested autism training for university staff.

自閉症の人々に対するスティグマを理解し、軽減する

本講演では、Eilidh Cage博士が、自閉を持つ人々に対するスティグマ（偏見）に関する研究成果を紹介する。多くの場合、自閉を持つ人々に対する見方は否定的で、迷信やステレオタイプ、誤解に基づいていることがある。

これらの否定的で、スティグマ的な見方のために、自閉を持つ人々は日常的に差別や偏見にさらされている。

このような差別経験は、マスキングやカモフラージュ行動（自閉を持つ人が意識的または無意識的にあたかも自閉症ではないかのように振舞うこと）の維持の一因であり、ウェルビーイングに負の影響を及ぼすと考えられているスティグマの特徴としてしばしばあるのは、"dehumanization"（非人間的に扱うこと）、つまりスティグマの対象を「人間以下」とみなすことである。

本講演では、一般の健常者と自閉症を研究する研究者自身におけるdehumanizationに関する研究を取りあげる。

最後に、Cage博士がスティグマを軽減するために私たちにどのようなことができるのかを大学職員のための自閉症研修を開発・検証した参加型プロジェクトについての考察を交えて話す。

Camouflaging in Autism

In recent years there has been increasing interest in the camouflaging or masking of autistic characteristics, which refers to hiding autistic characteristics or finding ways around autistic differences.

It has been proposed that camouflaging may make it harder to diagnose autism accurately on time, particularly in girls and women, and camouflaging has also been associated with mental health problems in autism.

This lecture will summarise the latest research in camouflaging and discuss its implications for autism diagnosis and support in children and adults.

自閉症におけるカモフラージュ

近年、自閉の特徴を隠したり、自閉症特有の違いを回避する方法を見つけることを指す「自閉特性のカモフラージュやマスキング」に関心が集まっている。

特に、女性においては、カモフラージュによって自閉症の正確な診断を適切なタイミングで得ることができない可能性が指摘されており、またカモフラージュは自閉症におけるメンタルヘルス問題との関連も指摘されている。

本講演では、カモフラージュに関する最新の研究をまとめ、子どもや大人の自閉症診断や支援への影響について議論する。